

会 議 録

会議の名称	令和2年度第4回枚方市社会福祉審議会 児童福祉専門分科会	
開催日時	令和2年12月14日	開始時刻 10時30分 終了時刻 12時00分
開催場所	枚方市役所別館 4階 第3委員会室	
出席者	会長：大西委員 副会長：富岡委員 委員：荒委員、枝村委員、岡本委員、河野委員、玉野委員、仲委員、肥田委員	
欠席者	遠藤委員、高田委員	
案 件 名	【案件】 (1) 【報告】母子父子寡婦福祉資金貸付金の状況について (2) 第4次枚方市ひとり親家庭等自立促進計画（案）について	
提出された資料等の名称	資料1 第4次枚方市ひとり親家庭等自立促進計画（案） 参考資料1 母子父子寡婦福祉資金貸付金の状況について 参考資料2 第4次枚方市ひとり親家庭等自立促進計画 概要版（案） 参考資料3 令和2年度第3回児童福祉専門分科会における主な意見一覧 参考資料4 第4次計画策定の経過と今後のスケジュール 参考資料5 枚方市社会福祉審議会児童福祉専門分科会委員名簿	
決 定 事 項	・第4次枚方市ひとり親家庭等自立促進計画の答申案について確認を行い、会長と最終の調整を行ったうえで市長へ答申することとした。	
会議の公開、非公開の別及び非公開の理由	公開	
会議録の公表、非公表の別及び非公表の理由	公表	
傍聴者の数	2人	
所管部署 (事務局)	子ども未来部 子ども青少年政策課	

審 議 内 容

【大西会長】

それでは、定刻になりましたので、ただいまより、令和2年度第4回枚方市社会福祉審議会児童福祉専門分科会を開催いたします。

まず初めに、事務局から、本日の委員の出席状況等についてご報告をお願いいたします。

【事務局】

会長、副会長をはじめ、各委員の皆様、おはようございます。

子ども青少年政策課課長の漆原でございます。どうぞ、よろしく申し上げます。

本日の委員の皆様の出席状況でございますが、出席委員は9名で、枚方市社会福祉審議会条例第7条3項の規定に基づき、本分科会が成立していることをご報告申し上げます。

なお、河野委員、玉野委員、仲委員につきましては、本日はWeb会議形式にてご出席をいただいております。

なお、本日の傍聴者は2名でございます。

【大西会長】

ありがとうございます。

前回、10月30日に開催しました第3回目の分科会では、ひとり親家庭等に関する関係機関等調査の結果報告と、第4次枚方市ひとり親家庭等自立促進計画の素案について、審議させていただきました。

本日の案件ですが、まず、報告案件といたしまして、母子父子寡婦福祉資金貸付金の状況についての説明を受ける予定にしております。

その後、第4次枚方市ひとり親家庭等自立促進計画（案）について、前回の審議での意見を踏まえた、計画答申案についてご確認いただき、本日の審議で、本分科会として市長に答申する計画案をまとめさせていただきたいと思っておりますので、どうかよろしくお願い申し上げます。

本日は12時までを予定しておりますが、可能な限りスムーズに審議を進めてまいりたいと思っておりますので、いつものごとくご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

それでは早速ですが、次第の案件の審議に入っていきたいと思っております。

まず、事務局から資料の確認をいただきまして、続けて、案件の1つ目、報告で母子父子寡婦福祉資金貸付金の状況についての説明をお願いしたいと思います。よろしくお願い申し上げます。

【事務局】

それでは、お手元の資料のご確認をお願いいたします。

[配付資料確認]

【事務局】

それでは、案件1、母子父子寡婦福祉資金貸付金の状況について説明させていただきます。

[参考資料1「母子父子寡婦福祉資金貸付金の状況について」に基づき説明]

【大西会長】

ありがとうございます。

ただいま、事務局から案件（１）について説明がありましたが、内容につきましてご意見とかご質問等はございますでしょうか。

この表を見てますと、令和元年度が３９件、令和２年度が今のところ２９件ということは、若干減ったということになりますかね。１２月以降に來られるというのはあると思いますけど。

【事務局】

卒業された方が、何件かいらっしやいました。

【岡本委員】

この新規というのは、年度替わりとか、そういうところでは多くなるんでしょうか。それとも月関係なく來られるんでしょうか。

会員様の中でも、やはり大学行くのに資金がない、すごく困ってるという相談もよく受けてるんです。こういう貸付けの制度がありますから、まずは市役所のほうでご相談なさってくださいとはお声がけしてるんですが、どの程度会員様の中でも利用される方がおられるかというのはちょっと把握できてない状況でございますけれども。

【事務局】

そうですね。今年度は、確かに新規の申請というのはちょっと少ないなと思ってるところで。もしかしたら、コロナの関係で学校等からも連絡が來てないのかもしれないんですけども。

あと、新制度で、国から収入に応じて給付型の奨学金制度ができましたので、その影響で申請が少なくなってる状況もあるのかと思ってるところです。

【岡本委員】

これは返還期限というのがあるんですか。

【事務局】

それは通常の貸付金と同じです。

【岡本委員】

分かりました。ありがとうございます。

【枝村委員】

償還率のところで、寡婦というのは、子どもが２０歳以上になって大学卒業して、償還していくという世帯になると思うんですけども、前年度に比べて償還率が上がっているということで、弁護士事務所に委託してる部分もあると思いますが、私も市の窓口に行って、どのぐらいあと償還が残っているとか、いろいろ相談したりするんですけど、寡婦の方というのは、結局１５年償還で借りたりすると、返し終わるのがもう７０歳ぐらいになったりするし、場合によっては、さらに７

5歳まで償還するという事になって、定年を過ぎてまださらに10年ぐらい、働き続けて償還していくんですけど、やはり市の窓口でも、寡婦の方の償還のしんどさというものに対する相談支援は非常に重要じゃないかなと思います。年金暮らしになると、ますます償還率については厳しいものがありますので、委託した弁護士に任せっ放しじゃなくて、その辺りについての相談支援というのは必要になってくるんじゃないかなと思います。

【事務局】

そうですね。いきなり弁護士に委託するという形ではなくて、その前に一度お手紙をお渡ししまして、この状態が続いて何もご連絡を頂けませんと、やむなく弁護士事務所に委託する形になりますので、ご一報を頂けますかということで、お手紙をお渡ししています。

その中で、現在の経済状況等を確認して、分納なり、柔軟に対応をしていくという形をとらせていただいております。

【大西会長】

ありがとうございます。

それでは、案件の1につきましてはこの程度にさせていただきたいと思います。

では、続きまして、次第の2番目、「第4次枚方市ひとり親家庭等自立促進計画（案）について」、事務局のほうから説明をお願いしたいと思います。

【事務局】

それでは、案件2の「第4次枚方市ひとり親家庭等自立促進計画（案）について」ご説明させていただきます。

[資料1「第4次枚方市ひとり親家庭等自立促進計画（案）」に基づき説明]

【大西会長】

ありがとうございます。

ただいま、事務局から、案件（2）について説明がありました。

これまでの説明につきまして、どこからでも結構ですので、何かご意見とかご質問等ございましたら、よろしくお願ひしたいと思います。

【富岡副会長】

ご説明ありがとうございました。ちょっと確認と、あとご検討いただけたらと思うんですが、まず、68ページのところなんですけど、(4)「子どもの育ちへの支援の充実」ということで、下線部のところが前回はSNSとかという限定的なものだったのが、より幅広くというような視点でこういう表現になったということだと思んですが、それはそれでいいのかなと思います。

その視点をベースにみたときに、例えば、65ページのところなんですけれども、子育て環境の充実のところの下線を引いていただいているところですが、ここは割と限定的に名称が入っているんですけれども、先ほどの部分とレベルを同じようにするのであれば、様々なもの、あるいは新しいものと連携しながらとか、もう少し緩やかな表現にするというのはどうなのかなと思って、聞かせていただきました。いかがでしょうか。

【事務局】

ありがとうございます。こちらの文言については、教育委員会の担当課と調整をさせていただきながら追記させていただいたんですけれども、他とのバランスなども考慮しながら、もう少し今の状況を伝えられるような形での記載に、精査させていただきたいと思います。今のご意見を踏まえて、また、考えさせていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

【富岡副会長】

下に主な事業を列挙していただいているので、そういうものと連携するというような表現で統一されたらどうかというふうに思いました。それと、続けてよろしいでしょうか。

82ページの図をいろいろご検討いただきましてありがとうございます。今回、クローバーのモチーフで検討していただいたということで、本当に細かいことで申し訳ないんですけど、クローバーの茎のところ、この表現がちょっと気になるので、象徴的に書いていただくときには、割とシンプルな形のほうがいいかなと思いますので、びしっと真ん中に来たほうがいいのかなというのを思います。

それと、細かいところで申し訳ないんですけど、クローバーの4つの葉っぱの大きさが、上がちょっと大きくて、下が若干小さいと思うんですけど、何か変に意図があるように見えてしまうので、特にもし意図がなければ、同じ大きさのほうがいいのかなというふうに思います。

あと、その下のベースになっている子どもの育ち見守りセンターという楕円の部分で、これがベースになるというイメージがあると思うんです。一方で背景の部分には全体を包んでいくようなグラデーションのイメージが以前の図ではあったかと思います。この場合、多分この楕円を起点に置いて、そこからだんだん上に広がっていくようなイメージで、それと多分紙面の幅があるので、楕円でなく円でも広げることができると思います。ちょっと書いてみたので、あとでまたご確認いただけたらと思います。

【大西会長】

ありがとうございます。これは、何か意図あったんですか。

【事務局】

すみません。幅を広げたり、小さくしたりする中で、ちょっと大きさがずれてしまったかもしれません。

【荒委員】

民生委員児童委員協議会の定例会が月1回、45校区の校区委員長が集まる定例会があるんですが、今回はコロナの関係で中止になったんですが、その定例会の資料のなかに、ひとり親に関する大阪府の資料が同封されていたんですが、事務局の方で手配いただいたものでしょうか。前回の分科会で私の方が、民生委員としてひとり親の問題について研修も必要ですねという発言もさせていただいたなかで、市は関係なくたまたま民生委員の事務局、または府の民児協からの資料提供だったのか、確認させていただきたいと思ひまして。

【事務局】

ありがとうございます。私どもからお送り差し上げた資料ではないかと思えます。よろしければ後ほどご確認させていただければと思えますので、よろしく願いいたします。

【大西会長】

ありがとうございます。ほかにございますか。

今回表紙に副題をつけるというのは先ほど説明がありましたけど、これについてはいかがですか。副題をつけることによって、よりいろんな方に見ていただく1つのきっかけになったらいいかなというようなことと、それから、先日社会福祉審議会の本審がありまして、本審の資料でも、副題がついておりましたんで、うちも負けてはいけないというような気持ちもありましたし、より分かる形で計画案ができたかなというようなことを思いましたもんですから、ちょうどこの基本理念の言葉がぴたっと来るということでしたので、副題に使わせていただきましたけど、いかがでしょう。

【肥田委員】

先ほどおっしゃったように、本審でもそうでしたけれど、「ひとり親家庭等の誰もがいきいきと希望をもって暮らせるまち」を目指してるといふ、具体的なことが、上の促進計画という固い言葉よりも、より軟らかく、一般的に受け入れられるかなというふうには思えます。よかったですと思えます。

【大西会長】

そうですね。ありがとうございます。

ちょっと1点、気になるというところでなんですけど、先ほど説明がありました11ページの、図表で「相対的貧困の状況」ということで載ってますが、グラフタイトルが貧困率となっており「相対的」というのが抜けているんですが、これは何か意図があるんでしょうか。

【事務局】

ありがとうございます。おっしゃるように、「相対的」が入るほうが適当だと思います。訂正させていただきます。

【大西会長】

ほかいかがでしょうか。何か、Web会議の先生方、よろしゅうございますか。

仲委員、何かありましたら。

【仲委員】

結構だと思います。

【大西会長】

よろしいですか。河野委員、何かありますでしょうか。

【河野委員】

ございません。

【大西会長】

玉野委員、いかがでしょうか。

【玉野委員】

取り組み指標の増加・減少の表記も、ちょっと分かりにくかったところも分かりやすくなって、よくなったと思います。

【大西会長】

ありがとうございます。ほか、よろしいでしょうか。

ちょっと私が気になってたのは、59ページの基本的な視点の「(1)ひとり親家庭等の人権の尊重」のところで、「市民一人ひとりが、それぞれの役割と責任を果たしながら」というのを入れていただくようにお話をさせていただきました。周りがきちんと責任を果たす、市民一人ひとりが人権を尊重しようという責任を持つことによって、ひとり親家庭の人権が尊重されるということになりますので、その「市民の責任」という言葉をどこかに入れたいと思っていたものですから、こういう形で入れさせていただいたところです。

この点についてはこのような形でよろしいですかね。

今まであまり市民の皆さんに対して責任をとっているのはなかったと思うんですけども、やっぱり人権を尊重するというところは、一人ひとりの意識の問題のところもありますから、ぜひとも、人権の尊重というところには、市民一人ひとりにそういう気持ちを持っていただきたいので、この責任という言葉を入れさせていただきました。

第6章の「施策の推進に向けて」の表もうまくまとめていただいて、本当に分かりやすくなったかと思うんですが、「減少」の指標は、ゼロに限りなく近くしていく、一方「増加」のほうはもっと高くしていける、そういう気持ちを持って、その中間点ということでのそれぞれの目標値ということですので、あくまでもここまで行ったら、もうこれで終わりということでは決してないんで、そういう意味合いが少しでも入っているといいかなというようなことも思いました。

いろいろと活発なご意見を頂きましてありがとうございます。大変恐縮なんですけれども、議論のほう、少し出尽くした感じもあるかと思えますけれども、この程度とさせていただければというように思います。

委員の皆様からは、今回までに様々な貴重なご意見を頂き、誠にありがとうございます。

初めに少しお話しさせていただきましたが、本日の分科会をもちまして、一定の答申案の取りまとめを行い、後日になりますが、私のほうから市長へ答申書をお渡しする準備を進めてまいりたいというように思っております。

このため、本日のご意見の最終的な反映につきましては、大変申し訳ないんですけど、ご一任をいただき、修正した内容をもって、本分科会からの答申とさせていただきたいと考えておりますが、そのような形で進めさせていただいてよろしいでしょうか。

(異議なし)

【大西会長】

ありがとうございます。

それでは、事務局においては、本日の資料からの追加や修正内容については、後日、委員の皆様へ送付いただくようお願いしたいというように思います。答申に当たりましては、これまで皆様にご審議をいただいた内容を踏まえて、答申書に附帯意見をつけたいというように思います。私の方で集約した記載案を皆様にお示ししたいと思いますので、ご意見がありましたら、お願いしたいと思っております。

(答申書(案)を配付)

【大西会長】

ご一読いただきまして、何かご意見がありましたらお願いしたいと思っております。いかがでしょうか。Webの先生方、委員の皆様、十分見えてますでしょうか。何かご意見ございますか。

(各委員 ご意見等なし)

それでは、ご意見がなければ、この案で答申をさせていただきたいと思っております。

ありがとうございました。

それでは、「その他」といたしまして、事務局のほうから何かありませんか。

【事務局】

本日のご審議、誠にありがとうございました。

今後のスケジュール等につきましてお知らせいたします。先ほど会長からおっしゃっていただきましたとおり、このたび取りまとめいただきました本計画案につきましては、後日に、会長から市長に対し、答申書とともに手渡しいただくこととしております。

答申の日付につきましては、本日付とさせていただきます。

また、事務局におきまして、12月25日金曜日から翌年1月14日木曜日までの期間でパブリックコメントを実施し、計画案について市民の皆様からのご意見を伺ってまいります。あわせて、1月9日土曜日になりますが、計画案に関する市民説明会を枚方市駅前のサンプラザ生涯学習市民センターで開催する予定としております。

その後、パブリックコメントの結果を踏まえまして、最終の確認、修正等を行った上で、市議会に計画最終案の報告を行いますとともに、令和3年3月に開催が予定されております、社会福祉審議会の本審におきまして、同じく、最終案のご報告をさせていただきます。そして、3月末に第4次計画を策定し、令和3年度以降、計画に基づく取り組みを推進してまいりたいと考えています。

なお、本日の資料につきましては、追加でご意見をいただける場合は、大変短い期間で申し訳ございませんが、12月17日木曜日までに、お電話、メール等により、事務局までご連絡いただきますようお願いいたします。追加で頂きましたご意見につきましては、改めて書面で委員の皆様へ回答させていただきます。

本日の会議録につきましては、これまでと同様、事務局で作成の上、委員の皆様にご確認いただき、会長と調整させていただいたものをホームページで公表させていただきます。

それでは、最後になりますが、子ども未来部長の杉浦から、皆様にご挨拶をさせていただきたいと存じます。

【杉浦子ども未来部長】

子ども未来部長の杉浦でございます。

委員の皆様には、本日の分科会でのご審議、誠にありがとうございました。本分科会の閉会に当たりまして、一言ご挨拶申し上げます。

委員の皆様におかれましては、本年2月28日の分科会で、第4次枚方市ひとり親家庭等自立促進計画の策定について諮問させていただき、本日まで計5回にわたりまして、熱心にご審議いただき、様々な視点からのご意見を賜りましたことに厚くお礼申し上げます。

計画策定にあたってのアンケート調査では、ひとり親家庭等の生活は、5年前の調査時点と比べ、やや改善している状況が伺えましたが、本年2月ごろから、新型コロナウイルスの感染が徐々に広がりを見せ、4月からの緊急事態宣言に伴う事業所への休業要請等で、これまでの生活が激変するといった状況に陥りました。特にひとり親家庭等への生活に与える影響は大きく、ご審議においても、生活状況が悪化しているなどのご意見を頂いたところでございます。

第4次計画策定のご審議の中で、計画の基本理念につきましては、「ひとり親家庭等の誰もが未来に希望を持てるまち」に対しまして、未来ではなく、今現在において希望が持てるようにすべきではないかというご意見を頂き、「ひとり親家庭等の誰もがいきいきと希望をもって暮らせるまち」に変えさせていただきました。

まさに今、コロナ禍において、さらに厳しい生活に置かれているひとり親家庭等への心強いメッセージとなりますよう、計画で推進することとした各種取り組みを着実に進めていきたいと考えております。

さて、新型コロナウイルスの感染拡大が全国的に広がる中、大阪府では、12月4日から大阪モデルの赤信号が点灯し、府民に対し不要不急の外出自粛が要請され、感染に対するさらなる警戒を呼びかけているところでございます。

そのため、本分科会におきましても、急遽Webでの会議参加が可能な方につきましては、初めての試みとはなりますが、Webでの参加をお願いいたしました。コロナ禍において新しい生活様式の定着が求められている中、今後、オンラインでの会議開催が定着していくものと考えております。

結びに、委員の皆様には、昨年度から計5回の分科会にご出席いただき、第4次計画の策定に向け熱心にご審議をいただきありがとうございました。時節柄、健康に留意していただくとともに、委員の皆様のみますますのご活躍を祈念いたしまして、簡単ではございますが、閉会の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

【大西会長】

私の方からも、委員の皆様にお礼とご挨拶を申し上げたいと思います。

委員の皆様には大変ご多用の中、それぞれのお立場から、5回にわたり審議を重ねていただきまして、本当にありがとうございました。

また、本分科会の円滑な運営にご協力いただきまして、誠にありがとうございます。

おかげさまをもちまして、予定どおり、枚方市への答申を行う目処がたちました。皆様の熱心なご議論と、会議運営に関してご協力をいただいた賜物というように思っております。繰り返し、感謝を申し上げたいと思います。

枚方市におきましては、本分科会での意見を十分踏まえながら第4次計画を策定し、その後の適切な進行管理を進めていただくようお願いしたいと思っております。

第3次、第4次とわたりまして、本当に力不足の私が計画を立てさせていただいたということ、皆様のご協力の下、立てさせていただき本当にありがとうございます。

やはり、ひとり親の具体的な生活がより豊かになり、そして、暮らしやすい日々の生活、僕はいつも生活というのは「生き生き」とすると、字を読んでそのままでございますけれども、前向きに、いろんなことに積極的に、主体的に取り組める日々を送らなければならないというように考えております。

ひとり親家庭をめぐっては様々な問題、課題がございますが、少しでも改善し、前進していけるように、今後も努力してまいりたいと思っておりますし、皆様のご協力の下、進めてまいりたい、進行管理も運営もさせていただければと思っておりますので、どうか今後ともよろしくお願い申し上げたいと思っております。

それでは、以上をもちまして、令和2年度第4回枚方市社会福祉審議会児童福祉専門分科会を終了させていただきます。皆様、どうもありがとうございました。